



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひるば

第19号 発行日 1994.8.20
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部
事務局/生涯学習室 ☎0294-22-3111
〒317 日立市助川町1-1-1

百年塾おもしろゼミへどうぞ!

- 百年塾は日立市民の生涯学習運動です。
- 百年塾は自らを高める「人づくり」です。
- 学習する多くの市民が「いいまちをつくりまします」。

1988年(昭和63年)に発足した、私たちの百年塾は、市民の自主的、主体的な企画と運営によって順調に進めてきましたが、さらに多くの方が百年塾運動にかかわっていただける機会づくりとして、『知って得する百年塾おもしろゼミ』を開くことになりました。

定年後の楽しい生き方を学ぶ「サラリーマン講座」をはじめ、ウォーキングを楽しみながら

学ぶ「さわやか健康講座」「ふるさと再発見講座」「相続税の話」など、高齢化時代にふさわしいテーマをそろえました。

また、身近な場所で、身近な内容を身近な市民教授から教わる「地域編」もあります。

どなたも気軽に参加し、学び合い、教え合いの共育の輪をひろげていきましょう。

～学ぶ喜び 集う楽しみ～

知って得するものばかり

8月20日から受付します

参加料、持参するものなど詳しいことは、お問合せください。

申込みは 百年塾サロンへ

☎24-7744

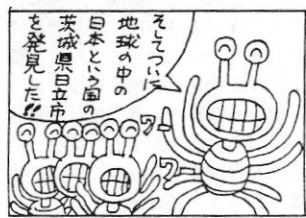
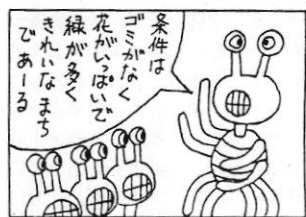
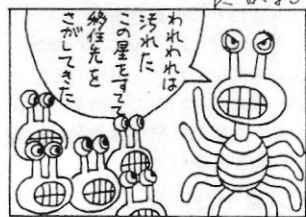
受付 火曜から金曜日までの
午前10時～午後4時

講座の名称	日程	場所	講師(市民数)	定員
盛年サラリーマンおもしろゼミ				
生き生き熟年 楽しい人生	11月12日(土) 10:00～12:00	ジックセンター	鈴木 啓三(兼班長)	80名
国際交流ってなに	12月10日(土) 10:00～11:30		武田 孝一	30名
あなたも生涯学習の市民教授になれる	1月21日(土) 10:00～11:30		大和田 稔	30名
福祉施設ってどんなところ	2月18日(土) 10:00～15:00	萬春園ほか	荒 正行	20名
さわやか健康ゼミ				
楽しみながら健康ウォーキング	11月19日(土) 9:00～13:00	かみ公園	鈴木 孝子	50名
作って食べて元気一杯(成人病予防)	1月28日(土) 10:00～13:00	ジックセンター	菅原 恵子	30名
見て 聞いて さがす「日立の再発見」				
ふるさと日立の古代史の謎	11月30日(木)	らぼ-50たち	志田 諄一	50名
市内各地の地名の由来	12月 7日(木)		瀬谷房之助	50名
陸前浜街道の今昔	12月14日(木)		長久保光明	50名
麒麟・雄 古代ロマンの世界へ翔ぶ	1月18日(木)		大貫 幸男	50名
祭のルーツと伝承文化	2月 1日(木)		堀 久秀	50名
女性が語る戦争体験	2月15日(木)		大越ハルエ	50名
台所事情とやさしい経済				
身近なメディアで賢くなろう	11月30日(木) 13:30～15:00	ジックセンター	黒羽 富寿	50名
円高・ドル安と台所とのかかわり	12月 7日(木)			
地域編 (前期分)				
豊 浦 楽しい料理教室	10月 8日(土) 9:30～12:00	豊浦公民館	橋本 恵子	20名
助 川 やさしいビデオ	① 撮影の基本	9月 7日(木)	助川 コミュニティセンター	海老沢 公
	② 見やすい画面	9月21日(木)		
	③ 簡単な編集	10月 5日(木)		
助 川 住まいのリフォーム	① 水まわりの修理	10月15日(土)	助川 コミュニティセンター	小林 淳伸
	② 建具修理	10月29日(土)		
	③ 家の外装、内装	11月26日(土)		
成 沢 家庭塾 ネットタイをつくろう	10月20日(木) 9:00～12:00	成沢公民館	宇津 淑子	10名
河原子 親子塾 海辺のゲーム	8月28日(日) 10:00～12:00	河原子北浜海岸	海野 裕美	15名
坂 下 食卓を飾るフラーアレンジメント	9月26日(月) 10:00～12:00	坂下公民館	藤田恵美子	15名
	菓酒の作り方、味わい方		10月29日(土)	川崎 正次

このほか「ちょっと得する相続税」、「ごみ学講座博士課程」、おもしろゼミ地域編(後期)が計画されています。

新連載マンガ 第1回

百ちゃん年ちゃん



マンガ作者(大塚隆夫さん)

日立電線(株)電線工場勤務の電線技術マン。自動車のパワーステアリング部品設計製造を担当。軽いハンドルさばきを楽しめるのは大塚さんのおかげです。趣味はプラモデルと読書。奥さんと子供2人の4人家族。

ひたちとくらしとファミリーと今年も百年塾フェスタ

11月12日(土)・13日(日)

会場 日立ジックセンター

第3回目の百年塾フェスタ、初日の11月12日(土)が、多彩なシンポジウム、2日目(日曜日)は、お祭りというように、これまでと趣向が変わりました。

だれでも気軽に参加できる、家族みんなで楽しめるイベントを計画中です。

フェスタ実行委員会では、「楽しいまち」「日立いいとこ探し」「日立やなとこ探し」についての自由意見を募集しています。(9月20日締め切り)

どんなことでも結構ですので、ハガキまたはお電話で送ってください。

あて先 〒317 日立市助川町 1-1-1

百年塾フェスタ実行委員会

フガシラ番号 0294-24-5200

200組に聞きました

夫婦の胸の内は？

人生のパートナーである「夫婦」。近年、女性の自立志向や離婚率の急増など、「夫婦」としての形や意識は確実に変化を見せています。そうした夫婦のお互いの胸の内を、各世代40組のカップルに尋ねてみました。

女性の社会的進出にともない現在、世の中の流れは、かつての「男は外・女は家」といった役割分業的な考え方から、真の男女平等を目指す考え方へと変わりつつあります。

こうした変化は、先に行われた「日立市に住む女性・男性の生活と意識の調査」においても明かにされており、夫婦の日常生活やかかわりあいにも影響を与えているようです。

子育ては夫婦いっしょ

始めに、家庭生活での役割意識から見てみると、グラフが示すように家事や子育てに当たるのは若い世代ほど「夫婦一緒」の考え方が多数を占めています。これは、共働き家庭の増加に伴い、夫婦平等を望む妻の声が多いといえるようです。50歳代で夫は「主に女性」妻は「一緒に」と考えが食い違うのは、夫が仕事に忙しい世代の現状でしょうか。現在、定年を迎えた60歳代以上では、夫・妻とも家事や子育ては「夫婦一緒」と「主に女性がする」の2つの考え方がほぼ同数になり、夫婦の歩み寄りがうかがえます。

高まる妻の自立志向

配偶者を失った時に選ぶ道として

は、妻の半数が「自立」と答えて15%近く夫を上回り、同時に世代別でもすべて差をつけています。その背景には、近年の女性の就業率増加に伴う経済的自立と、夫婦間の精神的



自立が作用し合っているのではないのでしょうか。

生まれ変わったら...

「生まれ変わったら...」の問いには夫側に肯定が多く、妻は高年齢ほど否定が増えてゆきます。自分の人生に対する疑問は、女性の方がより強く感じるのでしょうか。

一般的に年代が進むにつれ、定年

後の生活について、夫婦でよく話をするようになる傾向が見られます。

特に妻は50歳ごろにそのピークを迎えるのに対して、夫は定年間近がピークとなっていて、10年のず

れが見られます。20代の若い夫婦は、まだピンとこない定年後の生活よりも、現実の生活を重視していることがうかがえます。

話題は余暇と趣味

夫婦がよく話す定年後の生活設計の内容は、老後の経済的なことよりも、日常生活の中でお互いの余暇の過ごし方や趣味のもち方などが話題の上位を占めているようです。これは現代の傾向なのでしょう。

また、各年代ともボランティア活動や、地域活動への参加等に対する関心度が低いという結果がでていますが今後の課題と思われま

60代はピンク

将来のイメージカラーは、若い世代はブルーやグリーン系が大半を占め、あっさり、さわやか夫婦をイメージしているようです。

40代を過ぎると黄色系やピンクの明るい色が加わり、50代では2位にあがってきます。

特に60代になると1位はピンクとなりますが、老後は明るく楽しくありたいという希望がうかがえます。

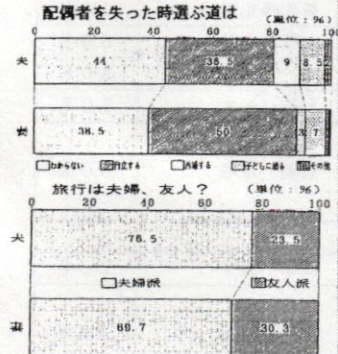
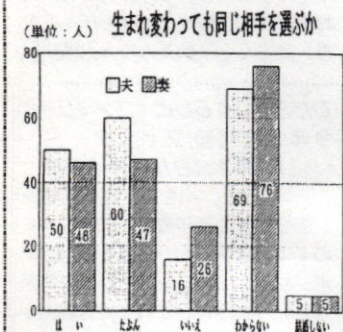
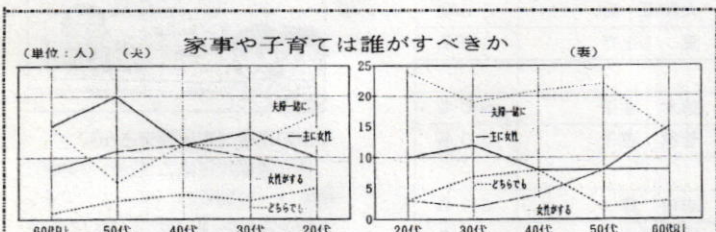
また、各年代とも将来のイメージカラーが夫婦ともに一致したのが特長でした。

冷戦は年代とともに

けんかをする夫婦は、「はい」と「ときどき」を含めて約8割います。そのけんかのパターンは、口げんかのみが大半を占め平和型と言えましょう。20・30・60歳代の妻は、口げんかでは負けていない強気が見えます。手を上げたり物を投げるのは夫の特色と言えますが、40・50歳代の妻にも若干見られます。

一方、口をきかない冷戦は年代と共に上昇しています。「やさしいことばをかけていますか」の問いに、20代の若いカップルでは「愛してる・俺がやっておくよ・ご飯おいしいよ」などと、実にいろいろな言葉をかけ合っています。

年代が上がるにつれて、ことばよりも態度で示しているという夫婦が多くなっています。



《今回の設問》

- ・家事や子育ては主に女性がする？
- ・配偶者を失った時はどうする？
- ・生まれ変わっても同じ人を選ぶ？
- ・老後の生活について話し合う？
- ・夫婦の将来のイメージカラーは？
- ・旅行は誰と行きたい？
- ・夫婦げんかのパターンはどれ？
- ・やさしい言葉をかけあっている？

市民教授 94.4月～8月に登録された方 あの人この人

- 川田やえ子・清水千津子(フォークダンス) ■館夏代(フラダンス) ■茅根博(郷土史・釣った魚の下ごしらえ) ■引田多喜夫(書道) ■黒澤光明(史跡めぐり) ■小澤陥子(装道・着付) ■川崎正次(薬草酒・薬草茶) ■会沢貞男(歳時記)

女性の目から見た茨城の家族

男性が法的な親族関係に安住している間に、妻と子どもは連携して城を固めた。夫たちが、家族と行動を共にすることや、共に生き共に考えることをおろそかにした

が、必ずしも普遍的ではない。女性の間に個人を大切に生き方が志向され、女性自身は生き方を大きくかえてきている。それと運動して家族のあり方も変化を



シオン短大教授 川上美智子さん

余儀なくされている。男女同質の生き方が可能であるようなゆるやかな連帯、協力関係で結ばれた「友愛家族」が新しい家族像として、求められているといえ

日立ユネスコ協会 総会・会員募集

総会 9月7日(水) 午後6時30分
場所 日立公民館 210号室
問い合わせ 日立ユネスコ協会 門馬 022-0468
申し込み先 日立市教育委員会 社会教育課 022-3111

講座会員募集

胎教・出産について考える会
日時 8月24日(水) 午後1時30分～3時30分
場所 仲町コミュニティセンター
対象 妊婦の方、関心のある方
会費 500円(資料) 2回目以降は無料
申込み先 水庭 24-4128 (夕方以降)